

国有林材等の安定供給システムによる販売について ～令和6年度 後期 公募結果の公表～

1 システム販売の取組

林野庁九州森林管理局では、木材の需要拡大を図り、併せて地域における安定供給体制の整備や、原木の加工・流通の合理化等に資することを目的として、間伐材等を有効に活用する安定供給システム販売に取り組んでいます。

先に募集した令和6年度の後期公募の結果について次のとおり公表します。

2 令和6年度 後期公募の結果

(1) 公募量と応募量

① スギ材の公募量（国有林 102,115 m³ 民有林 1,135 m³）

直材（国有林 1,100 m³）

曲がり材（国有林 1,100 m³）

直・曲がりセット材（曲がり材を3割程度含む採材、ただし福岡署、佐賀署、長崎署、熊本署、大分西部署、大分署、屋久島署は曲がり材を5割程度含む採材、国有林 99,915 m³ 民有林 1,135 m³）

② ヒノキ材の公募量

直・曲がりセット材（2mは18cm上、曲がり材を3割程度含む採材、国有林 21,060 m³）

③ スギ・ヒノキ小径木の公募量

（スギ 8cm～13cm、ヒノキ 8cm～12cm、国有林 2,060 m³）

④ C材の公募量（国有林 111,620 m³ 民有林 1,019 m³）

製紙用等	協定量 31,720 m ³	応募量 144,350 m ³	(4.6倍)
------	---------------------------	----------------------------	--------

バイオマス発電用	協定量 79,900 m ³	応募量 368,470 m ³	(4.6倍)
----------	---------------------------	----------------------------	--------

⑤ 公募量は合計で	国有林 236,855 m ³	応募量 731,645 m ³	(3.1倍)
	民有林 2,154 m ³	応募量 6,230 m ³	(2.9倍)

(2) 審査の結果

別添の企画提案を採用することとし、各応募者と協定を締結しました。

なお、今回評価した企画提案項目は以下のとおりです。

- ・ 購入希望価格
- ・ 効果的な取組内容
- ・ 施設整備等の新規性及び政策との整合
- ・ 原木や製品の生産・流通に係るコスト削減
- ・ 国有林の政策への貢献
- ・ 地域の民有林管理への貢献
- ・ 安全対策の取組
- ・ クリーンウッド法における登録木材関連事業者
- ・ ワークライフバランス等の推進
- ・ 働き方改革
- ・ 森林管理局長の評価
 - (1) 自動選別機等の活用及び検知費用に係るコスト削減
 - (2) 山元土場からの原木輸送に係る取組
 - (3) 規格外の材が混入した場合の取扱いに関する取組



担当：林野庁 九州森林管理局
森林整備部 資源活用課
TEL096-328-3673

林野庁

紙一枚からできる地球へ思いやり

～九州森林管理局では地球温暖化防止のため、再生可能な間伐材製品利用を推進しています～